

第16回CUD勉強会 講演『MY COLORS_私は色弱』—制作者からのメッセージ—
参加者からの事前質問および回答

※以下は参加申込(2024/8/15 締切, ⑫は 8/16 追加)にある質問・意見(自由記述)をそのまま修正無しでコピーしたものです。青字は当会が回答する質問であることを示します。

吉田氏は勉強会当日に①, ②, ④, ⑤, ⑧, ⑪に回答されました。ここでは質問の後に→を付し、吉田氏のスライド資料に示された回答をそのまま引用します。また③, ⑥, ⑦, ⑨, ⑫, ⑬については、当日十分な時間が確保できず、→の後の通り簡単に回答しました。

①今回のテーマで映像を制作されたときの難しかった点などお聞かせください。

→技術的課題(光と色の編集), ストーリー構成

②動画を見せていただきました。取り上げていただけてうれしいし、動画も素晴らしいとおもいます。ありがとうございます。主人公の女性の言葉を聞いていてあるあるとおもいました。

1. (人の)肌の色が判らない
2. (リンゴが)熟れているか見分けられない
3. 上手にお化粧ができない
4. みんなみたいにカラフルに見えない
5. みんなみたいに色に感動することも無い

のうち、

2は自然物の色の見分けなので人によってあると思います。

1は一般色覚の人の色覚と合わないということ。

3も1に近い。

4はカラフルに見えるというのがどういう色覚なのかわからないといえない。

5は一般色覚の人たちに否定され続けて楽しめなくなったという問題かと思います。

つまり、助け船がいれば解決できるわけで無く社会の理解が最終目標点だと思いますのでぜひそういう映像作品を作っていただきたいと思います。

→(スライドでは「社会の理解が最終目標点」の文字を強調しアンダーラインが付された)とても重要な指摘

③息子が色弱です

どうやって色を見分けるの?と聞いたら、覚える!と言いますが、意味が分からず・

あと、色弱の人が傷ついてしまう他人からの言葉とかあれば教えて欲しいです

→さくらが咲いて美しいね、紅葉が美しいねということば。同意を求められると困ることがあります。悪気はなく発言されていると思うが、傷つくこともあります。

④今回の映像作品を構想にするにあたり、参考にした作品(映画, ドラマ, 小説, 詩, 絵画等)あるいはYouTube等の動画やSNS投稿はありましたか? 参考にせずとも、事前に知っていたものはありますか? あれば、それらに対してどのように感じましたか?

→色弱についての参考作品はありませんでした。一方、「障がい」と認知される物事への考え方は「子どもの成長」と「認知症」に携わっていた経験が作品作りに大きく影響しました。

⑤色弱者を女性に設定したのはなぜですか?

→”視聴者の心を掴むイメージが湧いたから”です。

⑥色弱の方は、誘導タイルについてどんなご意見をお持ちかお聞きできればありがたいです。または公共の場(歩道ほか)で移動中にどんな点でお困りでしょうか。

→特段困ることはないが、現在地を示す赤色が見えにくいときがある。

⑦私は73歳の赤緑色盲の老人ですが、大学受験のとき、医学系、理工学系、教員養成系で「色盲色弱不可」が殆どで、障がい者(?)差別も甚だしい社会でした。現在の状況が判れば知りたいところです。

→すべての国公立大学やほとんどの私立大学では色覚による受験制限はありません。就職については、一部の職種に色覚制限がありますので、事前に学校及び企業に問合せをおすすめします。
CUDO(NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構)のホームページ「色覚異常・色弱」よくある質問「Q-302: 受験・就職に不利になるでしょうか?」に対する返答より
https://cudo.jp/?page_id=732#302

■色覚による職業採用制限について

厚生労働省は、2001年(平成13年)に労働安全衛生規則の一部を改正し、雇入時健康診断の健診項目としての色覚検査を廃止しました。施行は2001年10月1日。

JISHA 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター のホームページ>法令・通達
労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について

<https://www.jaish.gr.jp/anzen/hor/hombun/hor1-42/hor1-42-41-1-0.htm>

以下は、留意事項の抜粋

- ・本改正は、各事業場における個別の必要性に基づく自主的な取組みとしての色覚検査の実施を禁止するものではないが、改正の趣旨にかんがみ、職務に必要とされる色の識別能力を判断する際には、各事業場で用いられている色の判別が可能か否かの確認を行う等にとどめることが望ましいこと。
- ・各事業場内において、「色」表示のみにより労働者の安全への配慮等を行っているものについては、色の表示を生かしつつ、文字等の併用や異なった形や大小の差による区別を行う等の工夫を行い、誰もが判別しやすい表示を行うことが望ましいこと。

■公務員の採用や国家資格/公的資格が必要とされる職業の採用について、採用制限はありますが、緩和傾向にありますので、最新の情報を得ることをおすすめします。

公務員の採用：警察官、消防士、自衛隊員、海上保安官

国家資格/公的資格が必要とされる職業の採用：鉄道車両操縦、航空機操縦、船舶操縦、調理師など
※最新の緩和事例

・国土交通省 Press Release 令和6年7月1日

「鉄軌道における動力車操縦者運転免許の受験資格等を見直します」

鉄道運転士になるために必要な「動力車操縦者」の受験資格が改訂されました。身体検査の基準において、「正常であること」と規定されている色覚の基準が、「動力車の操縦に支障を及ぼすと認められる異常がない」と改正されました。施行は2024年7月1日。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001750972.pdf>

⑧テレビドラマ、「君が心をくれたから」の色覚に関する描き方、また他の感覚の欠落に関する描き方について。

→クリエイティブの世界で常に巻き起こる「写実」か「世界観」か問題ということがあります。制作者の声を聞くことで、より作品の魅力が引き出され、エンドユーザー(視聴者)の心を良くも悪くも揺さぶって来ると思っています。この作品、私は感情移入するほど世界観に溺れました。

⑨電子機器のランプの色について取り上げていただきたいです。自動車のインパネ(計器盤)には各種の警告灯が有りますが、どうも赤く光る場合と緑に光る場合があるようです。残念ながら私にはどちらの色で光っているのか判りません。安全にかかわる警告もあります。

また、バッテリーの充電が完了したときにランプの色がグリーンに変わるという仕組みも用をなしません。色彩と光とは違うお話かもしれませんが、触れていただければと思います。

→電子機器のランプの色は CUD 対応が必要で、色弱者の困りごと、不便なことの1つです。

⑩CP プラス 2024 の会場で紹介され、色弱について多くの人に関心を持ってもらうきっかけになったのではと思います。ありがとうございます。

⑪映像作品を作成する際、カラーユニバーサルデザインへの配慮で悩むことがありますか。また、どんなことに悩みますか。

→ 作品に配慮しすぎると、自分の世界観にブレーキがかかることがある。私の思う”素敵”をまだデザインに落とし込む技術が備わっていない。そのため、特段配慮していない、ということが私の正直な回答です。

⑫色弱の方に話を伺いたい時、どのように対象者を見つけ、話を聞くことができるでしょうか。

→ 時間切れとなり勉強会では回答できませんでした。CUD に対する意識を日頃から会話のなかで表明していると、当事者から実は私は色弱ですと声をかけてくれることがあります。周囲のひとに、色覚についての問題意識を語ることから始めてください。目的に応じて、当会のような推進団体に問い合わせる方法もあります。

⑬個人差はあると思いますが、色弱の方は自分が色弱であることに対し、どの程度不快感を抱いているか気になります。

→ 時間切れとなり、勉強会では当事者の方からの回答は得られませんでした。

以上

(2024/10/15 作成)